

一般社団法人日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)

東京水辺再生シンポジウム

—外濠からリスタートする東京の水辺再生—



写真提供: 前田建設工業(株)

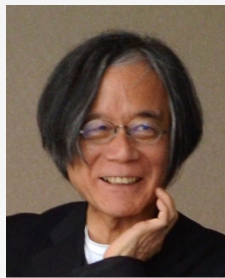
2023年**5月24**日(水)14:00~17:00(開場13:30) 参加費無料
茅場町・鉄鋼会館8階会議場(東京都中央区茅場町3-2-10)／Zoomウェビナー
土木学会CPD認定プログラム(認定番号:JSCE23-0372、2.7単位)

<プログラム(敬称略)>

- 14:00 開会挨拶 **丸川 裕之** 一般社団法人日本プロジェクト産業協議会 専務理事
- 14:05 基調講演「東京の修復と更新 土と木と水と」 **宇野 求** 建築家・東京理科大学 嘱託教授
- 14:35 基調提言「外濠(市ヶ谷～飯田橋)地区再生プロジェクト」 **吉川 正嗣**
JAPIC国土・未来プロジェクト研究会 外濠WGリーダー／株式会社建設技術研究所 顧問
- 14:55 事例紹介「東京メトロ南北線建設事業」 **安藤 太** メトロ開発株式会社 技術部 部長
「札幌市創成川通アンダーパス連続化事業」 **小泉 正樹** 札幌市スポーツ局招致推進部長
「外濠・神田川・日本橋川・隅田川 親水都市ネットワーク構想」 東京都市大学都市生活学部空間デザイン研究室
- 5:40 休憩
- 15:50 パネルディスカッション「外濠から考える東京の水辺再生」
コーディネーター **川口 英俊** 東京都市大学 都市生活学部 教授
パネリスト **高田 徹** 外濠水辺再生協議会 会長／マップボックス・ジャパン合同会社 CEO
(順不同) **小泉 正樹** 札幌市スポーツ局招致推進部長
安藤 太 メトロ開発株式会社 技術部 部長
吉川 正嗣 JAPIC国土・未来プロジェクト研究会外濠WGリーダー／株式会社建設技術研究所顧問
- 16:50 質疑応答
- 17:00 閉会挨拶 **多田 智** 一般社団法人建設コンサルタント協会 顧問

主催：(一社)日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)
共催：(一社)関東地域づくり協会、(一社)建設コンサルタンツ協会
後援：東京都、千代田区、新宿区、(公社)土木学会、(一社)日本建設業連合会

当シンポジウムは、(一社)関東地域づくり協会の助成事業です。



基調講演

宇野 求 建築家・東京理科大学 嘱託教授

1984年東京大学大学院修了、工学博士。学生時代に建築設計事務所を設立、建築および都市の設計を始める。2001年千葉大学教授、2007年東京理科大学教授。東洋大、昭和女子大、慶應大学大学院、東京理科大学大学院、名古屋大学大学院、北海道大学大学院ほかで非常勤講師を歴任。「豊橋駅東口駅前広場」、「幕張新都心住宅地M2-2街区」ほか設計。日本建築学会作品選奨、日本建築美術工芸協会賞特別賞、グッドデザイン賞ほか受賞。著作は「東京計画2001」(共著、鹿島出版会)、「技術知の射程」、「海辺の環境学」(共著、東京大学出版会)ほか。



基調提言

パネルディスカッション

吉川 正嗣 JAPIC国土・未来プロジェクト研究会 外濠WGリーダー／株式会社建設技術研究所 顧問

1979年に国際航業株式会社入社、2019年に株式会社建設技術研究所、顧問。建設コンサル有志企業で中村英夫先生を迎え1996年に設立した「インフラストラクチャー研究会」初代幹事、現在は副会長。先生の指導で需要追従型から成熟社会に必要なインフラに関する研究を行う。テーマは「都市のリノベーション」、講演の「外濠地区再生」はその一つ。JR中央線市ヶ谷駅付近の外濠を活かすまちづくり。東京の都心にありながら「水辺とまちが一体化する緑豊かで開放的な空間」は世界に誇れるプロジェクト。本シンポジウムが皆様に認知される契機となることを祈りたい。



事例紹介

パネルディスカッション

安藤 太 メトロ開発株式会社 技術部 部長(元 帝都高速度交通営団7号線市ヶ谷工事事務所 工事掛)

1977年日本国有鉄道東京第一工事事務所(当時)入社。東北上越新幹線土浦～日暮里間建設、上野駅改良、京葉都心線東京駅建設業務に従事。1987年帝都高速度交通営団(当時)入団。建設本部設計部、7号線市ヶ谷工事事務所、環境対策、積算、2004年東京地下鉄移行後、事業開発、改良建設安全推進・道路調整に従事。2014年メトロ開発株式会社技術部出向。2023年より現職。地下鉄湧水の河川や濠への放流浄化に関する複数の経験を通じて、江戸城に係る遺跡の保存・整備や濠の水辺環境保全が必要と感じている。



事例紹介

パネルディスカッション

小泉 正樹 札幌市スポーツ局招致推進部長(元 札幌市建設局土木部創成・駅前整備担当課 調整担当係長)

1991年札幌市役所入庁。以降、道路の整備、維持管理、除排雪など主に道路行政に長く携わり、2018年白石区土木部長を経て2020年より現職。2005年から2008年まで、札幌都心の交通課題の解消と親水緑地空間の整備を一体で取組んだ創成川通アンダーパス連続化事業、明治43年に建設された石造アーチ橋である創成橋の復元事業に従事。現職ではまちづくりの取組を加速化するプロジェクトと位置付ける2030冬季オリンピック・パラリンピックの招致を担当。旅先などで選奨土木遺産を見に行くことが楽しみ。技術士(建設部門)



パネルディスカッション

高田 徹 外濠水辺再生協議会 会長／マップボックス・ジャパン合同会社 CEO

2007年4月、ヤフー株式会社入社。2013年より広告事業の製品開発、事業開発の責任者として従事。Buzzfeed Japan代表取締役社長、CRITEO株式会社取締役などを経て、2019年にZコーポレーション株式会社の代表取締役社長に就任。2020年4月からはソフトバンク株式会社の技術投資戦略本部 本部長(現同社顧問)を務めつつ2020年5月、マップボックス・ジャパン合同会社CSO、同11月より最高経営責任者CEOに就任。一方、2021年8月より外濠水辺再生協議会の会長として、東京における美しい自然と水辺環境の再生に積極的に取り組む。



パネルディスカッション

川口 英俊 東京都市大学 都市生活学部教授 川口英俊

札幌市出身。Yale University建築学部大学院修了後Emilio Ambasz & Associatesニューヨーク事務所勤務(1989～1993年)を経て、1994年(株)アーキテクト・キューブ一級建築士事務所開設。2009年より現職。建築家として建築設計や空間設計を中心に活動し、大学研究室では外濠・神田川・日本橋川の水辺の再生構想や国外でのランドスケープデザインを中心としたまちづくりに取り組む。JAPIC国土・未来プロジェクト研究会委員。一級建築士。大都市における自由で安全な市民の水辺空間利用を実現したい。

土木学会CPD認定プログラム(認定番号:JSCE23-0372、2.7単位)

※土木学会CPDプログラムとしての受講を希望される方へ

- 途中参加・途中退出の場合は受講証は発行いたしかねます。・CPD受講証(PDF)の送付(メール)は6月上旬の予定です。
- Zoomウェビナーでご参加の方はシンポジウム終了時に表示される画面において100文字以上の所見(学びや気づき)を記入していただきます。(記入は当日限り)。この記入は1アクセスにつき一人のみのため、必ずご自身でのアクセスをお願いします。
- 土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。他団体が運営するCPD制度に関する内容については回答いたしかねます。

お問合せ先：日本プロジェクト産業協議会 シンポジウム事務局 kokudo2023@japic21.or.jp TEL:03-3668-2885